

現 計 画

改 訂 案

千厩地区地域づくり計画書



千厩地区まちづくり協議会

(事務局：千厩市民センター内)

郵便番号 029-0803

住 所 一関市千厩町千厩字館山50番地

電話番号 0191-52-2309

千厩地区地域づくり計画書



千厩地区まちづくり協議会

(事務局：千厩市民センター内)

郵便番号 029-0803

住 所 一関市千厩町千厩字館山50番地

電話番号 0191-52-2309

千厩地区地域づくり計画の策定手順について

現行の千厩地区地域づくり計画は、平成28年度から平成32年度(令和2年度)までの計画期間となっており、この策定については、平成25年に地域住民の皆さん約50人が参加しワークショップを開催したほか、講演会と視察研修を各2回実施、その後、委員14人による検討委員会を開催し、地区内団体等を対象としたアンケート調査の結果を踏まえ計画案を策定しています。

現計画は令和2年度が終期となっていることから、令和3年度以降の計画については、新型コロナウイルスの感染拡大の防止が必要なことから、ワークショップや検討委員会等を複数回開催できないことなど現下の状況を踏まえ、次の手順により策定することとします。

- 1 現計画が令和2年度までに全て達成あるいは完了していないことを踏まえ、現計画をベースに見直して改訂案を調製し、役員会でその内容を検討する。
- 2 改訂案を本会委員に提示し、意見等を求める。
- 3 2の意見等を反映した最終計画を役員会で協議し、総会で審議のうえ改訂計画として決定する。

注意
改訂案の文言の修正理由等は、囲みに記載しました。

| 現 計 画 | | 改 訂 案 | |
|-------------------------------|------------------|-------------------------------|-------------------------|
| 千厩地区地域づくり計画書 目次 | | 千厩地区地域づくり計画書 目次 | |
| 第1章 はじめに | | 第1章 はじめに | |
| 1 計画策定の趣旨 | ……………P <u>2</u> | 1 計画策定の趣旨(何のために作るのか) | ……………P <u>3</u> |
| 2 計画の期間と概要 | ……………P <u>2</u> | 2 計画の期間と概要 | ……………P <u>3</u> |
| 3 計画の経過 | ……………P 4 | 3 地域づくり計画策定の経過 | ……………P 4 |
| 第2章 地域の概要 | | 第2章 地域の概要 | |
| 1 地理と概況 | | 1 地理と概況 | |
| (1) 位置と概況 | ……………P 5 | (1) 位置と概況 | ……………P 5 |
| (2) 対象地区面積 | ……………P 6 | (2) 対象地区面積 | ……………P 6 |
| 2 世帯数と人口 | | 2 世帯数と人口 | |
| (1) 人口構造等(千厩地区のみ) | ……………P 6 | (1) 人口構造等(千厩地区のみ) | ……………P 6 |
| (2) 行政区・男女別人口 | ……………P 6 | (2) 行政区・男女別人口 | ……………P 6 |
| 第3章 地域づくり計画 | | 第3章 地域づくり計画 | |
| 1 方針 | | 1 方針 | |
| (1) 目的 | ……………P 7 | (1) 目的 | ……………P 7 |
| (2) 分野別目標 | ……………P 7 | (2) 分野別目標 | ……………P 7 |
| 2 スローガン | ……………P 7 | 2 スローガン | ……………P 7 |
| 3 分野別計画(現状と課題、課題解決の取り組み・アイデア) | | 3 分野別計画(現状と課題、課題解決の取り組み・アイデア) | |
| (1) 地域コミュニティ | ……………P 8 | (1) 地域コミュニティ | ……………P 8 |
| (2) 福祉(健康長寿) | ……………P 9 | (2) 福祉(健康長寿) | ……………P 9 |
| (3) 防災・防犯 | ……………P <u>10</u> | (3) 防災・防犯 | ……………P <u>10</u> |
| (4) 子育て・少子化 | ……………P <u>11</u> | (4) 子育て・少子化 | ……………P <u>11</u> |
| (5) 文化・スポーツ | ……………P <u>11</u> | (5) 文化・スポーツ | ……………P <u>12</u> |
| (6) 産業・しごと | ……………P <u>12</u> | (6) 産業・しごと | ……………P <u>13</u> |
| (7) 生活環境・安心安全 | ……………P <u>13</u> | (7) 生活環境・安心安全 | ……………P <u>14</u> |
| 第4章 資料編 | | 第4章 資料編 | |
| 1 千厩地区まちづくり協議会規約 | ……………P <u>14</u> | 1 千厩地区まちづくり協議会規約 | ……………P <u>15</u> (記載省略) |
| 2 千厩地区まちづくり協議会名簿 | ……………P <u>17</u> | 2 千厩地区まちづくり協議会名簿 | ……………P <u>17</u> (記載省略) |

見出しは省略せず、各項目の表記のとおりとします。

数字は一桁は全角で、二桁又は小数点以下の場合、もしくは()付は原則として半角とします。

第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨（何のために作るのか）

私たちの千厩地区は、千厩町の中心部に位置し、古くから中心商店街を形成し、旧東磐井地区の政治・経済・教育等の中心地として社会基盤・生活環境の整備とともに発展してきました。

しかし、少子・高齢化や核家族化など社会情勢の変化により、これまで行政が主体となって進めてきた地域づくりは、様々な形で支障が出てきており、特に、地域活動の基本となる地域コミュニティの維持は、年々難しくなっています。

このような現状を踏まえ、地域づくりを担っている地区内自治会を中核に、地区内各団体等の方々とともに、“住んでみたいと思える地域づくり”を目的に千厩地区まちづくり協議会_____を平成17年8月9日に設立しました。

協議会では、これまで幾度かのワークショップや団体ごとアンケートを行い更に検討委員会を設置し、将来への指標となる地域づくり計画_____の策定について、検討を重ねてきました。この地域づくり計画は、千厩地区の未来に向けた道筋を示すもので、地区住民の参画をもとに、地域活動をしている各団体等が一堂に会し、みんなが同じ目線で共有することができる千厩の将来の姿（スローガン）を掲げるとともに、その将来の姿を実現するための目標、それを達成するための重点項目を明らかにするものです。

2 計画の期間と概要

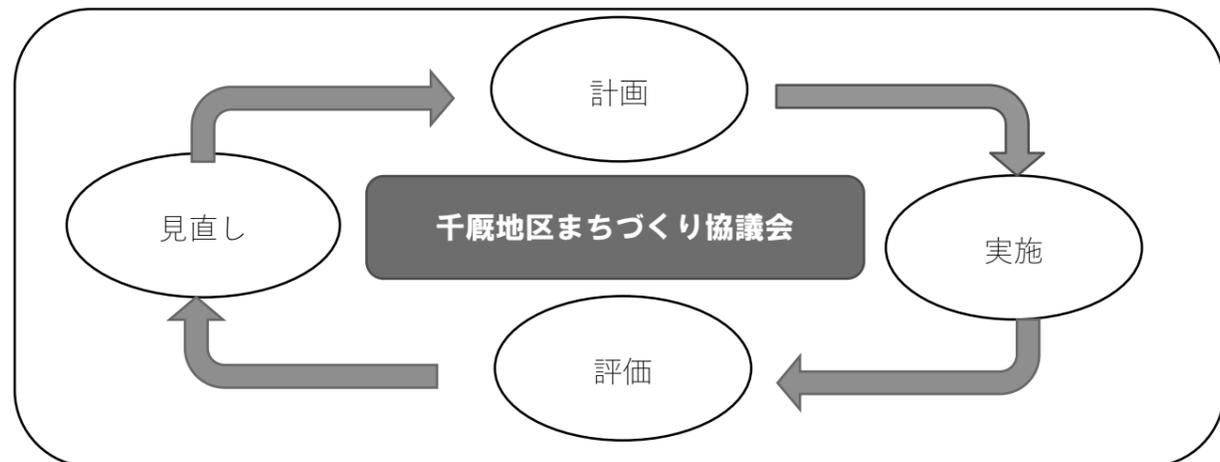
地域づくり計画は、平成28年度から平成32年度までの「千厩地区」が目指す地域づくりの方向性を定めるもので、次の役割を担います。

- (1) 千厩地区の地域づくりの基本理念とその考え方、これを達成するための目標を明らかにします。
- (2) 地区民、各団体等のみなさんとこの計画の基本的な考え方や方向性を共有し、自主的かつ積極的な活動を展開しようとするものです。

また、行政との協働による地域づくりの指針ともなるものです。

- (3) 計画を推進するにあたっては、下図サイクルにより毎年度見直し、住民ニーズや社会情勢を見極め、り効果的な内容として計画に位置付けます。

計画・実施・評価・見直しのサイクル



第1章 はじめに

1 計画策定の趣旨（何のために作るのか）

私たちの千厩地区は、千厩町の中心部に位置し、古くから中心商店街を形成し、旧東磐井地区の政治・経済・教育等の中心地として社会基盤・生活環境の整備とともに発展してきました。

しかし、少子・高齢化や核家族化など社会情勢の変化により、これまで行政が主体となって進めてきた地域づくりは、様々な形で支障が出てきており、特に、地域活動の基本となる地域コミュニティの維持は、年々難しくなっています。

このような現状を踏まえ、地域づくりを担っている地区内自治会を中核に、地区内各団体等の方々とともに、“住んでみたいと思える地域づくり”を目的に千厩地区まちづくり協議会(以下「協議会」という。))を平成17年8月9日に設立しました。

協議会では、これまで幾度かのワークショップや団体ごとアンケートを行い更に検討委員会を設置し、将来への指標となる地域づくり計画(以下「計画」という。))の策定について、検討を重ねてきました。この地域づくり計画は、千厩地区の未来に向けた道筋を示すもので、地区住民の参画をもとに、地域活動をしている各団体等が一堂に会し、みんなが同じ目線で共有することができる千厩の将来の姿（スローガン）を掲げるとともに、その将来の姿を実現するための目標、それを達成するための重点項目を明らかにするものです。

2 計画の期間と概要

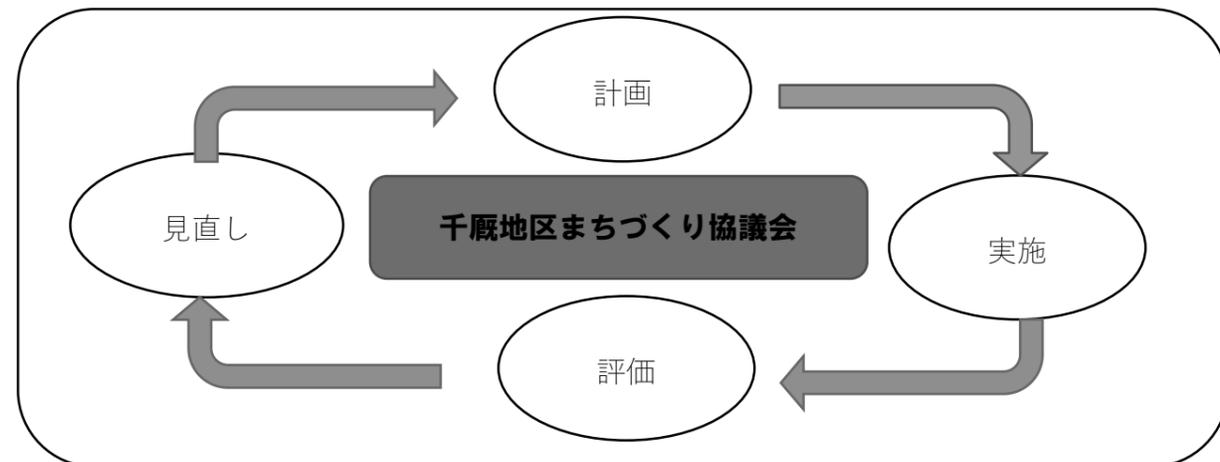
計画_____は、平成28年度から令和7年度までの「千厩地区」が目指す地域づくりの方向性を定めるもので、次の役割を担います。

- (1) 千厩地区の地域づくりの基本理念とその考え方、これを達成するための目標を明らかにします。
- (2) 地区民、各団体等のみなさんとこの計画の基本的な考え方や方向性を共有し、自主的かつ積極的な活動を展開しようとするものです。

また、行政との協働による地域づくりの指針ともなるものです。

- (3) 計画を推進するにあたっては、下図サイクルにより毎年度見直し、住民ニーズや社会情勢を見極め、り効果的な内容として計画に位置付けます。

計画・実施・評価・見直しのサイクル



現 計 画

3 地域づくり計画策定までの経過

現在一関市では、地域活動を推進する「協働体」の整備を市内全域で進められています。
さらに、27年度からは「地域交付金」制度も始まり、協働によるまちづくりが進められております。
それらを受け、千厩地区でも地域づくり計画の策定に着手して、地域課題の解決を図り、住みよい地域づくりを進めて行くこととなり、下記の手順で、計画づくりを進めて来ました。

(これまでの経過)

平成25年度

- まちづくりワークショップ 第1回目 10/18、約 50 名参加
第2回目 12/13 ”

- まちづくり講演会 山形県川西町「きらりよしじま」高橋事務局長講演
- まちづくり視察研修 川西町、宮城県大崎市

平成26年度

- 6/25 地域計画策定の説明（第2回役員会）
- 9/20 まちづくり講演会 岩手日報社長 東根千万億氏
- 11/11 大崎市まちづくり先進地視察

○自治会ごとにミニ計画を策定

- 期間 1月から3月（一部4月以降）
 - ・ 地域カルテや地域の課題集約（要望等調査）
 - ・ 地域の目標（課題解決のための）の精査等

平成27年度

総会や役員会で 地域づくり計画の策定について説明

第2回役員会において、検討委員会を設置し、原案作りを進めることを決定。

会長・副会長を含む14名を選任（青年女性層からも選任）

- 第1回検討委員会 12月25日
- 第2回検討委員会 1月21日
- 第3回検討委員会 1月27日
- 第4回検討委員会 2月4日
- 第5回検討委員会 2月12日
- 第6回検討委員会 3月12日

以上 6回の検討委員会を開催し、H25年のワークショップや昨年策定の自治会毎ミニ計画、
27年度に実施した地区内各団体アンケートから寄せられた課題等を土台に話し合いを続け、計画の素案作りを実施。

- 3月6日平成27年度千厩地区民祭まちづくり協議会展示コーナー設置
 - ・ 地域づくり計画の検討状況の報告（展示）及び更なる意見聴取
 - ・ 地区民祭で地域ビジョン（目標）の投票実施。（地区民の参加）

平成28年度

- H28年2月25日 第3回役員会で素案協議及び今後の進め方検討
- H28年5月9日 役員会で原案検討し、総会提案を決定
- H28年6月29日 千厩地区地域づくり計画書を一関市へ提出。
- H28年8月5日 千厩地区地域づくり計画に係る実施計画ワークショップを開催予定

改 訂 案

3 地域づくり計画策定の経過

現在一関市では、地域活動を推進する「協働体」の整備を市内全域で進められています。
さらに、27年度からは「地域交付金」制度も始まり、協働によるまちづくりが進められております。
それらを受け、千厩地区でも地域づくり計画の策定に着手して、地域課題の解決を図り、住みよい地域づくりを進めて行くこととなり、下記の手順で、計画づくりを進めてきました。

(これまでの経過)

平成25年度

- まちづくりワークショップ 第1回目 10月18日 約 50 名参加
第2回目 12月13日 ”

- まちづくり講演会 山形県川西町「きらりよしじま」高橋事務局長講演
- まちづくり視察研修 川西町、宮城県大崎市

平成26年度

- 6月25日 地域計画策定の説明（第2回役員会）
- 9月20日 まちづくり講演会 岩手日報社長 東根千万億氏
- 11月11日 大崎市まちづくり先進地視察

○自治会ごとにミニ計画を策定

- 期間 1月から3月（一部4月以降）
 - ・ 地域カルテや地域の課題集約（要望等調査）
 - ・ 地域の目標（課題解決のための）の精査等

平成27年度

協議会の総会や役員会で、地域づくり計画の策定について説明

第2回役員会において、検討委員会を設置し、原案作りを進めることを決定

会長・副会長を含む14名を選任（青年女性層からも選任）

- 第1回検討委員会 12月25日
- 第2回検討委員会 1月21日
- 第3回検討委員会 1月27日
- 第4回検討委員会 2月4日
- 第5回検討委員会 2月12日
- 第6回検討委員会 3月12日

以上、6回の検討委員会を開催し、平成25年のワークショップや昨年策定の自治会毎ミニ計画、平成27年度に実施した地区内各団体アンケートから寄せられた課題等を土台に話し合いを続け、計画の素案作りを実施。

- 3月6日平成27年度千厩地区民祭まちづくり協議会展示コーナー設置
 - ・ 地域づくり計画の検討状況の報告（展示）及び更なる意見聴取
 - ・ 地区民祭で地域ビジョン（目標）の投票実施（地区民の参加）

平成28年度

- 2月25日 第3回役員会で素案協議及び今後の進め方検討
- 5月9日 役員会で原案検討し、5月31日、総会で決定
- 6月29日 千厩地区地域づくり計画書を一関市へ提出
- 8月5日 千厩地区地域づくり計画に係る実施計画ワークショップを開催予定

現計画の月日の表記は「○/○」と「○月○日」が混在していますので、改訂後は統一します。

第 2 章 地域の概要

1 地理と概況

(1) 位置と概況

【地勢】 千厩地区は、旧千厩町の中央に位置し、東西約 6.6km、南北約 6.4km、面積 15.81 k m²。北東には標高 895.4m の室根山があり、ここから西方と南方に連なる 300～400m の山々に囲まれた三角状の盆地である。室根山を源として北上川に注ぐ一級河川千厩川が地区内の中央部を東西方向に流れている。

この川の流域に耕地が開けているほか、ゆるやかな起伏が多く、その間に耕地、宅地が点在している。

【歴史】 千厩は、古くから北上川の水輸送の中継点、内陸と沿岸を結ぶ交通の要所として栄えてきた。仙台藩の「風土記御用届出」(安永風土記)には、「八幡太郎義家公が安部貞任退治に奥州に来た際、この場所で千匹の馬を岩屋につないだ」と記されており、千頭の馬が繋がれた厩(うまや)が地名の起こりとも言われている。

また、千頭の馬を飼ったのは藤原秀衡という説もあるが、いずれにしても古くから馬産地として知られ、平泉町の義経堂には「源義経の愛馬太夫黒(たゆうぐろ)千厩産」と書かれた絵馬が掲げられている。また、奥州藤原氏の黄金文化を支えた産金の地でもあり、周辺地域内には「黄金山」「金取沢」「金山沢」などの地名や金を掘った跡が残されている。

藤原氏滅亡後、13世紀には源頼朝の家臣、葛西氏の領有となり、その後、仙台藩(伊達氏)や一関藩(田村氏)の治政下に入る。

【気象】 気候は、太平洋気候区内陸盆地型気候に属し、県内では比較的温暖で積雪深も 20cm を越えることはまれである。平成 25 年の年間降水量は 1,142 ㎜、年平均気温 10.5℃

【生活圏】 国道 284 号線を通じて西の一関市中心部、東の気仙沼市の双方に車で 30 分の位置にある。旧東磐井地方における行政、経済、教育、文化、医療等の中心地として発展し今日に及んでいるが、市町村合併後は、ハローワークなどの撤退や県の出先機関の縮小が進んでいる。しかし、商業面では独自の商圈を確立している。

また、県立病院をはじめ医療施設には比較的恵まれ広域医療の中心となっている。

集落の配置をみると、市街地を取り囲むように山間部には多くの散在集落が位置し、各集落は市街地から放射状に延びる道路によって市街地と密接につながっている。

県立高等学校が 1 校、県立高等技術専門校及び両磐地域職業訓練センターがあり、周辺地域からの通学者も多い。

【経済】 商業では、商店街沿道の区画整理により街路整備、商店街の近代化事業に着手し、利便性と魅力ある商店街づくりを進めている。

令和 2 年度

3 年 3 月 25 日 第 4 回役員会で計画の見直しについて及び今後の進め方を協議

令和 3 年度

5 月 日 第 1 回役員会で見直し案を検討し、5 月 日、総会で決定

第 2 章 地域の概要

1 地理と概況

(1) 位置と概況

【地勢】 千厩地区は、旧千厩町の中央に位置し、東西約 6.6km、南北約 6.4km、面積 15.81 k m²。北東には標高 895.4m の室根山があり、ここから西方と南方に連なる 300～400m の山々に囲まれた三角状の盆地である。室根山を源として北上川に注ぐ一級河川千厩川が地区内の中央部を東西方向に流れている。

この川の流域に耕地が開けているほか、ゆるやかな起伏が多く、その間に耕地、宅地が点在している。

【歴史】 千厩は、古くから北上川の水輸送の中継点、内陸と沿岸を結ぶ交通の要所として栄えてきた。仙台藩の「風土記御用届出」(安永風土記)には、「八幡太郎義家公が安部貞任退治に奥州に来た際、この場所で千匹の馬を岩屋につないだ」と記されており、千頭の馬が繋がれた厩(うまや)が地名の起こりとも言われている。

また、千頭の馬を飼ったのは藤原秀衡という説もあるが、いずれにしても古くから馬産地として知られ、平泉町の義経堂には「源義経の愛馬太夫黒(たゆうぐろ)千厩産」と書かれた絵馬が掲げられている。また、奥州藤原氏の黄金文化を支えた産金の地でもあり、周辺地域内には「黄金山」「金取沢」「金山沢」などの地名や金を掘った跡が残されている。

藤原氏滅亡後、13世紀には源頼朝の家臣、葛西氏の領有となり、その後、仙台藩(伊達氏)や一関藩(田村氏)の治政下に入る。

【気象】 気候は、太平洋気候区内陸盆地型気候に属し、県内では比較的温暖で積雪深も 20cm を越えることはまれである。平成 25 年の年間降水量は 1,142 ㎜、年平均気温 10.5℃で、令和 2 年の年間降水量は 1,211.5 ㎜、年平均気温 11.4℃となっている。

【生活圏】 国道 284 号線を通じて西の一関市中心部、東の気仙沼市の双方に車で 30 分の位置にある。旧東磐井地方における行政、経済、教育、文化、医療等の中心地として発展し今日に及んでいるが、市町村合併後は、ハローワークなどの撤退や県の出先機関が縮小された。しかし、商業やサービス業など経済活動面では独自の圏域を確立している。

また、県立千厩病院をはじめ医療施設には比較的恵まれ広域医療の中心となっている。

集落の配置をみると、市街地を取り囲むように山間部には多くの散在集落が位置し、各集落は市街地から放射状に延びる道路によって市街地と密接につながっている。

県立千厩高等学校、県立千厩高等技術専門校及び両磐地域職業訓練センターがあり、周辺地域からの通学者も多い。

【経済】 商業では、商店街沿道の区画整理により街路整備、商店街の近代化事業が進められるなど、利便性と魅力ある商店街づくりを進めている。

現 計 画

工業は、過去に工業団地整備などにより大企業の誘致が図られたが、最近では撤退する企業が相次いでいる。しかし、地場産業などがけん引して企業活動の振興が図られている。

(2) 対象地区面積

総面積 15.81k m² (一関市千厩町千厩地域)

2 世帯数と人口の推移

(1) 人口構造等 (千厩地区のみ)

| 項目 | 平成28年3月1日現在 | 平成25年3月31日現在 |
|-----|--------------------|---------------------|
| 総人口 | 5,978人 (前年対比△1.4%) | 6,232人 (前年対比△0.3%) |
| 男性 | 2,854人 (前年対比△1.3%) | 2,962人 (前年対比△0.8%) |
| 女性 | 3,124人 (前年対比△1.5%) | 3,270人 (前年対比+0.06%) |
| 戸数 | 2,453戸 (前年対比△1.2%) | 2,473戸 (前年対比+2.5%) |

※戸数は、住民登録している戸数となり、行政区別の世帯数と数値に違いがあります。

(2) 行政区・男女別人口

(H28.3.1現在)

| 行政区 | 世帯 | 男 | 女 | 合計 |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 千厩1の1区 | 241 | 288 | 321 | 609 |
| 千厩1の2区 | 225 | 222 | 255 | 477 |
| 千厩1の3区 | 327 | 403 | 449 | 852 |
| 千寿荘 | 78 | 14 | 64 | 78 |
| 千厩2の1区 | 147 | 154 | 183 | 337 |
| 千厩2の2区 | 371 | 410 | 447 | 857 |
| 千厩2の3区 | 327 | 376 | 389 | 765 |
| 千厩3区 | 307 | 405 | 417 | 822 |
| 千厩4区 | 160 | 242 | 232 | 474 |
| 千厩5区 | 242 | 312 | 335 | 647 |
| 雇用促進住宅 | 28 | 28 | 32 | 60 |
| 合計 | 2,453 | 2,854 | 3,124 | 5,978 |

改 訂 案

工業は、過去に工業団地整備などにより企業誘致が図られたが、撤退した企業もある。しかし、製造業などを中心として企業活動の振興が図られている。

(2) 対象地区面積

総面積 15.81k m² (一関市千厩町千厩地域)

2 世帯数と人口の推移

(1) 人口構造等 (千厩地区のみ)

| 項目 | 令和3年3月1日現在 | 平成28年3月1日現在 | 平成25年3月31日現在 |
|-----|--------------------|--------------------|---------------------|
| 総人口 | 5,366人 (前年対比△1.1%) | 5,978人 (前年対比△1.4%) | 6,232人 (前年対比△0.3%) |
| 男性 | 2,544人 (前年対比△1.5%) | 2,854人 (前年対比△1.3%) | 2,962人 (前年対比△0.8%) |
| 女性 | 2,822人 (前年対比△0.7%) | 3,124人 (前年対比△1.5%) | 3,270人 (前年対比+0.06%) |
| 世帯数 | 2,314戸 (前年対比+0.2%) | 2,453戸 (前年対比△1.2%) | 2,473戸 (前年対比+2.5%) |

※世帯数は、住民登録している数となり、自治会別の世帯数と数値に違いがあります。

(2) 行政区・男女別人口

| 行政区 | 令和3年3月1日現在 | | | | 平成28年3月1日現在 | | | |
|---------------------|------------|-------|-------|-------|-------------|-------|-------|-------|
| | 世帯 | 男 | 女 | 合計 | 世帯 | 男 | 女 | 合計 |
| 千厩1の1区 | 247 | 278 | 297 | 575 | 241 | 288 | 321 | 609 |
| 千厩1の2区 | 187 | 192 | 221 | 413 | 225 | 222 | 255 | 477 |
| 千厩1の3区 | 299 | 333 | 386 | 719 | 327 | 403 | 449 | 852 |
| 千厩1の9区 (千寿荘) | 79 | 18 | 61 | 79 | 78 | 14 | 64 | 78 |
| 千厩2の1区 | 133 | 127 | 160 | 287 | 147 | 154 | 183 | 337 |
| 千厩2の2区 | 347 | 360 | 415 | 775 | 371 | 410 | 447 | 857 |
| 千厩2の3区 | 279 | 320 | 349 | 669 | 327 | 376 | 389 | 765 |
| 千厩3区 | 317 | 391 | 401 | 792 | 307 | 405 | 417 | 822 |
| 千厩4区 | 173 | 235 | 229 | 464 | 160 | 242 | 232 | 474 |
| 千厩5区 | 246 | 382 | 296 | 578 | 242 | 312 | 335 | 647 |
| 千厩5の9区 (旧雇用促進住宅) | 7 | 8 | 7 | 15 | 28 | 28 | 32 | 60 |
| 合計 | 2,314 | 2,544 | 2,822 | 5,366 | 2,453 | 2,854 | 3,124 | 5,978 |

第3章 地域づくり計画

1 方針

(1) 目的 健康で笑顔あふれる地域を次世代へ

「千厩地区地域づくり計画」は、千厩地区住民が自ら地域の将来像を考え、誰もが地域への愛着を持ち、安心して暮らせる住みよい地域社会を実現する事を目的とします。

(2) 分野別目標

- 1) 地域コミュニティ…「みんなが集い、たがいに支えるまちづくり」
- 2) 健康長寿…「たがいにふれ合い、支え合いながら健康を育むまちづくり」
- 3) 防災・防犯…「地域住民が連携し、安心して暮らせるまちづくり」
- 4) 子育て・少子化…「若者が安心して暮らし、結婚・子育てができるまちづくり」
- 5) 文化・スポーツ…「地域の伝統を継承し、新しい文化を創造するまちづくり」
「みんなで企画し参加する、スポーツ実践のまちづくり」
- 6) 産業・しごと…「豊かな自然を活かした、新たな事業で潤うまちづくり」
「若者が留まり 元気でイキイキと働き生活できるまちづくり」
- 7) 生活環境・安心安全…「人と自然にやさしい循環型のまちづくり」

2 スローガン

「みんなでつくろう！ 楽しい未来のまちづくり」

平成26年度選定 まちづくり推進標語 児童の部 最優秀賞

「みんなの手 つないだ力で明るい町に」

平成26年度選定 まちづくり推進標語 一般の部 最優秀賞

第3章 地域づくり計画

1 方針

(1) 目的 健康で笑顔あふれる地域を次世代へ

「千厩地区地域づくり計画」は、千厩地区住民が自ら地域の将来像を考え、誰もが地域への愛着を持ち、安心して暮らせる住みよい地域社会を実現する事を目的とします。

(2) 分野別目標

- 1) 地域コミュニティ…「みんなが集い、たがいに支えるまちづくり」
- 2) 健康長寿…「たがいにふれ合い、支え合いながら健康を育むまちづくり」
- 3) 防災・防犯…「地域住民が連携し、安心して暮らせるまちづくり」
- 4) 子育て・少子化…「若者が安心して暮らし、結婚・子育てができるまちづくり」
- 5) 文化・スポーツ…「地域の伝統を継承し、新しい文化を創造するまちづくり」
「みんなで企画し参加する、スポーツ実践のまちづくり」
- 6) 産業・しごと…「豊かな自然を活かした、新たな事業で潤うまちづくり」
「若者が留まり 元気でイキイキと働き生活できるまちづくり」
- 7) 生活環境・安心安全…「人と自然にやさしい循環型のまちづくり」

2 スローガン

「みんなでつくろう！ 楽しい未来のまちづくり」

平成26年度選定 まちづくり推進標語 児童の部 最優秀賞

「みんなの手 つないだ力で明るい町に」

平成26年度選定 まちづくり推進標語 一般の部 最優秀賞

3 分野別計画(現状と課題、課題解決の取り組み・アイデア)

(1) 地域コミュニティ

「みんなが集い 互いに支えあえるまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|-------|----------------|
|-------|----------------|

① 自治会活動

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 自治会に入らない(脱会する)世帯が増えている。 ⇒アパート、住宅、貸家の住民の未加入が多い。 ⇒高齢のため「行事に参加できない」班長が来ない等の理由がある。 自治会内でコミュニケーションが取れない。 自治会館がない。 | <ul style="list-style-type: none"> 自治会について周知する__ (広報など) 世帯主の名前と電話番号を自治会内で共有し、行事の案内等に活用する__ 班ごとでの活動等、まずは小さな範囲での活動を促進させる__ 地域の長生会、サロンなどの各組織と広く連携する__ |
|--|--|

②若者の参加・担い手不足

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもはスポ少へ行き、親もついて行くので、行事に参加できない。子育ても忙しい。 地域に仕事がないので若者が出て行ってしまふ。 役員を一度引き受けると後任が見つからず、他の役職も掛け持ちになり負担が増える。 ボランティアの人材不足。 世代交代ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> 若者の活躍できる場を設ける__ (自治会報編集係等) ロコミ効果を重視して、事業を行っても「やりっぱなし」にしないで、反省会などで次につなげる__ 子ども会と自治会との接点を多くすること(世代間交流) |
|--|--|

③組織運営

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 担い手がないのに専門部が多い。 役員が高齢化している。 予算不足。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政区内での自治会統合を検討_____ 任期で交代を徹底する__ 部門別・役割分担____ (例:企画部門と実働部隊) |
|---|---|

④行事

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 人が足りず、夏祭り(山車・踊り)への参加が難しくなっている。 参加者が固定化し、活動がマンネリ化している。 清掃活動や花壇づくりには参加が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 近隣自治会と合同で行事を行うことで人材不足とマンネリを解消する__ 行事について意見を集める場を設け、見直しを図る__ 西小田配水池への桜植栽による地域住民の癒しの場創出 参加してよかったと思わせ、次につなげる |
|--|--|

3 分野別計画(現状と課題、課題解決の取り組み・アイデア)

現計画の表記は体言止めと用言止めが混在し、「。」も付けたり無かったりしていますので、改訂後は統一します。

(1) 地域コミュニティ

「みんなが集い 互いに支えあえるまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|-------|----------------|
|-------|----------------|

③ 自治会活動

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 自治会に入らない(脱会する)世帯が増えている。 ⇒アパート、住宅、貸家の住民の未加入が多い。 ⇒高齢のため「行事に参加できない」班長が来ない等の理由がある。 自治会内でコミュニケーションが取れない。 自治会館がない。 | <ul style="list-style-type: none"> 自治会について周知する。(広報など) 世帯主の名前と電話番号を自治会内で共有し、行事の案内等に活用する。 班ごとでの活動等、まずは小さな範囲での活動を促進させる。 地域の長生会、サロンなどの各組織と広く連携する。 |
|--|---|

2若者の参加・担い手不足

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもはスポ少へ行き、親もついて行くので、行事に参加できない。子育ても忙しい。 地域に仕事がないので若者が出て行ってしまふ。 役員を一度引き受けると後任が見つからず、他の役職も掛け持ちになり負担が増える。 ボランティアの人材不足。 世代交代ができない。 | <ul style="list-style-type: none"> 若者の活躍できる場を設ける。(自治会報編集係等) ロコミ効果を重視して、事業を行っても「やりっぱなし」にしないで、反省会などで次につなげる。 子ども会と自治会との接点を多くする。(世代間交流) パソコン、スマホなどIT技術を活用して参加を促す。 |
|--|---|

③組織運営

- | | |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 担い手がないのに専門部が多い。 役員が高齢化している。 予算不足。 | <ul style="list-style-type: none"> 行政区内での自治会統合を検討する。 任期で交代を徹底する。 部門別に役割分担する。(例:企画部門と実働部隊) リーダー研修を行う。(視察研修、教養講座等) |
|---|--|

④行事

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 人が足りず、夏祭り(山車・踊り)への参加が難しくなっている。 参加者が固定化し、活動がマンネリ化している。 清掃活動や花壇づくりには参加が多い。 | <ul style="list-style-type: none"> 近隣自治会と合同で行事を行うことで人材不足とマンネリを解消する。 行事について意見を集める場を設け、見直しを図る。 西小田配水池に植栽した桜を活用し地域住民の癒しの場を創出する。 参加してよかったと実感できる取組を進める。 |
|--|--|

(2) 福祉（健康長寿）

「たがいにふれ合い、支え合いながら健康を育むまちづくり」

現状と課題

- ・高齢者や障がい者が元気に暮らせる交流の場が少ない。
- ・施設等に入り、居住者不在の空き家が増えている。
- ・独居世帯や要介護者が増加し、防犯対策や孤独死等が心配される。

課題解決の取り組み・アイデア

- 見守り活動の充実
 - ・見守り活動の仕組みづくり
 - ①地区内、他地域の取り組みを知る機会をつくる__
 - ②どの方法なら可能か、機能するか話し合う__
 - ③千厩地区（自治会・班）で共通認識を持って取り組む仕組みをつくる__
 - ・災害時などにおける自主防災組織等との連携体制を確立する__
- 健康づくり
 - ・健康寿命アップによる高齢者の地域参加、社会貢献の取り組みを充実させる__
 - ・いつでも誰でも運動できる環境をつくる__（ジム、ウォーキングコース等）
 - ・自治会等の範囲を超えたサロンやラジオ体操等の外出機会をつくる__（世代間交流、コミュニティづくり）
- 障がい者への理解を深める
 - ・千厩小中学校と一関清明支援学校千厩分教室との共同学習や交流活動等へ地域からも参加し、地域ぐるみでの交流や理解を深める__

(2) 福祉（健康長寿）

「たがいにふれ合い、支え合いながら健康を育むまちづくり」

現状と課題

- ・高齢者や障がい者が元気に暮らせる交流の場が少ない。
- ・施設等に入り、居住者不在の空き家が増えている。
- ・独居世帯や要介護者が増加し、防犯対策や孤独死等が心配される。

課題解決の取り組み・アイデア

- 見守り活動の充実
 - ・見守り活動の仕組みづくり
 - ①地区内、他地域の取り組みを知る機会をつくる__
 - ②どの方法なら可能か、機能するか話し合う__
 - ③千厩地区（自治会・班）で共通認識を持って取り組む仕組みをつくる__
 - ・災害時などにおける自主防災組織等との連携体制を確立する__
- 健康づくり
 - ・健康寿命アップによる高齢者の地域参加、社会貢献の取り組みを充実させる__
 - ・いつでも誰でも運動できる環境をつくる__（ジム、ウォーキングコース等）
 - ・自治会等の範囲を超えたサロンやラジオ体操等の外出機会をつくる__（世代間交流、コミュニティづくり）
- まちづくりセミナー・健康長寿ミーティングを自治会単位で開催し、介護等について理解を深める__
- 新型コロナウイルス感染症対策の啓発と事業実施の際は予防の取組に努める__
- 障がい者への理解
 - ・千厩小中学校と一関清明支援学校千厩分教室との共同学習や交流活動等へ地域からも参加し、地域ぐるみでの交流や理解を深める__
 - ・認知症に対する正しい理解と地域での支え合いに取り組む__

まちづくりセミナーは協議会事業として実施しています。

新型コロナウイルスの感染症対策は、今後、重要な取組です。

見出しは体言止めに統一します。

認知症への理解と取組は、地域づくりの重要なテーマです。

(3) 防災・防犯

「地域住民が連携し 安心して暮らせるまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|---|--|
| <p>①防災</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震、気象災害に対応した安心・安全に対応する環境整備が遅れている。 自主防災活動の停滞・機能不全。 自主防災組織間の連携やつながりがない。 過去に大きな災害を体験した経験がすくないため、防災意識が低い。 災害時における要援護者支援の安否確認や避難支援者の確保。 自治会の避難場所が分散していること。 防災マスの音声が聞こえない所がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 石堂コミュニティ公園（防災公園）等を活用した防災訓練や地域行事を行う__ 消防団等を交えた情報交換等の場を設ける__ 災害時の行政との連携や連絡系統を明確にする__ 先進地（北上川流域等）の取り組みから学び、反映させる__ 危険個所を点検し、調査や整備が必要な個所を把握する__ 防災マップは、様々な災害を想定し、定期的に見直す__ 防災マスのテスト放送を行い、適切な位置に設置する__ 避難行動要支援者への支援について、自治会ごとに災害時の動きを決める__ |
| <p>②防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> 千厩中学校通学路の街路灯が少ない。 学校から離れるとパトロール隊がない。 不審火が頻発している場所がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 街路灯を増やし、安心して歩ける道にする |
| <p>② 空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家の増加に伴う火災、防犯への対策が必要。 | <p>●Uターン・移住支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域を離れた人たちが帰ってくるきっかけづくり__ 地域の魅力をPR__ 地域に雇用の場をつくる__ 行政の空き家バンクや移住補助金等の制度と連携して取り組む__ |
| <p>④道路・交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路灯が点灯しなくなった場所がある。 交通事故が頻繁に起きる場所がある。 排水不良になっている幹線市道側溝がある。 舗装が必要な道路がある。 千厩中学校通学路の街路灯が少ない。 学校から離れるとパトロール隊がない。 | <ul style="list-style-type: none"> 千厩中学校通学路の街路灯を増やし、安心して歩ける道にする__ 自治会ごとに通学路の見守りを検討する__ |

(3) 防災・防犯

「地域住民が連携し 安心して暮らせるまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|--|--|
| <p>①防災と自主防災活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 地震、気象災害に対応した安心・安全に対応する環境整備が遅れている。 自主防災活動の停滞・機能不全。 自主防災組織間の連携やつながりがない。 過去に大きな災害を体験した経験がすくないため、防災意識が低い。 災害時における要援護者支援の安否確認や避難支援者の確保。 自治会の避難場所が分散していること。 防災マスの音声が聞こえない所がある。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>現状と課題は、「行政」と「地域」での取組内容が混在していますので、見出しに「自主防災活動」を加えます。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 石堂コミュニティ公園（防災公園）等を活用した防災訓練や地域行事を行う__ 消防団等を交えた情報交換等の場を設ける__ 災害時の行政との連携や連絡系統を明確にする__ 先進地（北上川流域等）の取り組みから学び、反映させる__ 危険個所を点検し、調査や整備が必要な個所を把握する__ 防災マップは、様々な災害を想定し、定期的に見直す__ 防災マスのテスト放送を行い、適切な位置に設置する__ 避難行動要支援者への支援について、自治会ごとに災害時の動きを決める__ |
| <p>②防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> 千厩中学校通学路の街路灯が少ない。 学校から離れるとパトロール隊がない。 不審火が頻発している場所がある。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>まちづくりセミナーと安全安心イルミネーションは協議会事業として実施しています。</p> </div> | <ul style="list-style-type: none"> 街路灯を増やし、安心して歩ける道にする__ まちづくりセミナー・安全安心ミーティングを自治会単位で開催し、防犯活動等について理解を深める__ 安全安心まちづくりを積極的に啓発するため、イルミネーションを活用した事業を行う__ |
| <p>④ 空き家</p> <ul style="list-style-type: none"> 空き家の増加に伴う火災、防犯への対策が必要。 | <p>●Uターン・移住支援</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域を離れた人たちが帰ってくるきっかけづくりを進める__ 地域の魅力をPRする__ 地域に雇用の場をつくる__ 行政の空き家バンクや移住補助金等の制度と連携して取り組む__ |
| <p>④道路・交通安全</p> <ul style="list-style-type: none"> 街路灯が点灯しなくなった場所がある。 交通事故が頻繁に起きる場所がある。 排水不良になっている幹線市道側溝がある。 舗装が必要な道路がある。 千厩中学校通学路の街路灯が少ない。 学校から離れるとパトロール隊がない。 | <ul style="list-style-type: none"> 千厩中学校通学路の街路灯を増やし、安心して歩ける道にする__ 自治会ごとに通学路の見守りを行う__ |

(4) 子育て・少子化

「若者が安心して暮らし 結婚・子育てができるまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|---|---|
| <p>①少子化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが減っている。 ・若者の定住。 ・未婚者が増えている。 ・未婚者は行事に参加しづらい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集落点検による地域の伝統・文化の継承_____ ・若者が帰ってこられる環境整備_____ ・出会いの場のセッティング_____ (例：婚活列車、出会いのTVへの応募など) |
| <p>②子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べる場がない。 ・平成30年に小学校移転に伴う安全通学の確保。中学生も同様。 ・子供会の人数が減ってきている。 ・子供会行事の際の移動手段がない。 ・自治会との連携ができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供だけでなく親も参加しやすい環境づくり_____ ・夏休みや冬休みに小さな子供でも参加できる行事を地区で企画する_____ ・市の研修バス等の活用はできないか ・子供の医療費を免除する ・高齢者の助けを得る(知恵を借りる)仕組みを作る_(有料制とすれば高齢者にもメリット) ・千厩病院の充実(医師志望者への学費援助など) |

※集落点検の代表的手法としてT型集落点検がある。

『T型集落点検』とは住民主体で行う集落再生プログラムです。

(4) 子育て・少子化

「若者が安心して暮らし 結婚・子育てができるまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|---|---|
| <p>①少子化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもが減っている。 ・若者の定住。 ・未婚者が増えている。 ・未婚者は行事に参加しづらい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・集落点検による地域の伝統・文化の継承に<u>取り組む。</u> ・若者が帰ってこられる環境整備に<u>努める。</u> ・出会いの場のセッティングを<u>検討する。</u>(例：婚活列車、出会いのTVへの応募など) |
| <p>②子育て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べる場がない。 ・平成30年に小学校移転に伴う安全通学の確保。中学生も同様。 ・子供会の人数が減ってきている。 ・子供会行事の際の移動手段がない。 ・自治会との連携ができていない。 | <ul style="list-style-type: none"> ・子供だけでなく親も参加しやすい環境をつ<u>くる。</u> ・夏休みや冬休みに小さな子供でも参加できる行事を地区で企画する_____ ・市の庁用バス等の活用できる事業を行う_____ ・_____ ・高齢者の助けを得る(知恵を借りる)仕組みを作る_(有料制とすれば高齢者にもメリット) ・千厩病院の充実を要請する_____ |

「市の研修バス」は「市の庁用バス」が正しい表記です。子供の医療費は既に自己負担が無償となっています。「医師志望者への学費援助など」は、市などで事業を行っているので、医師の確保などについて要請活動を行うこととします。

※集落点検の代表的手法としてT型集落点検がある。

『T型集落点検』とは住民主体で行う集落再生プログラムです。

(5) 文化・スポーツ

「地域の伝統を継承し 新しい文化を創造するまちづくり」

「みんなで企画し参加する スポーツ実践のまちづくり」

現状と課題

課題解決の取り組み・アイデア

① 伝統行事

・若い世代への伝統行事等の伝承が困難。

・特色のあるものは残し、人とエネルギーを集中させる。
 ・夜市やひな祭り等、盛りあがっている行事と連動させて行う。

② スポーツ

・千厩地区民運動会等協議への参加、チーム編成が難しくなっている。(各自治会運動部が基盤となっている)

・行事について意見を集める場を設け、見直しを図る。
 ・他地域の取り組みから学ぶ。
 ・若者の声を聴く場を設け、その意見を基に見直しを図る。
 ・自治会や班ごとに、企画をしてもらう。

(5) 文化・スポーツ

「地域の伝統を継承し 新しい文化を創造するまちづくり」

「みんなで企画し参加する スポーツ実践のまちづくり」

現状と課題

課題解決の取り組み・アイデア

④ 伝統的行事と文化の創造

・若い世代への伝統行事等の伝承が困難となっ

てきている。
 見出しの「伝統行事」は、上記のテーマと整合するよう「文化の創造」を加えます。

千厩の地名発祥に係る事業とアンブレラスカイせんまやは協議会事業として実施しています。

・特色のあるものは残し、人とエネルギーを集中させる。

・夜市やひな祭り等、盛りあがっている行事と連動させて行う。

・千厩の地名発祥伝説を広める取組を行い、地域に対する愛着を高める。

・雨傘や案山子などを活用するなど、若い世代も積極的に参加できる文化を創造する。

② スポーツ

・千厩地区民運動会等協議への参加、チーム編成が難しくなっている。(各自治会運動部が基盤となっている)

・行事について意見を集める場を設け、見直しを図る。

・他地域の取り組みから学ぶ。

・若者の声を聴く場を設け、その意見を基に見直しを図る。

・自治会や班ごとに、企画をしてもらう。

(6) 産業・しごと

「豊かな自然を活かした 新たな事業で潤うまちづくり」

「若者が留まり 元気でイキイキと働き生活できるまちづくり」

現状と課題

課題解決の取り組み・アイデア

① 農業

- ・後継者不足。
- ・耕作放棄地、田圃用水の占有。

- ・法人化で新たな雇用創出
- ・6次産業化で雇用と所得の向上を目指す

② まちば・商店街（振興会）

- ・シャッターの閉まった店が増えた。
- ・自治会行事と振興会行事が重なると自治会に参加できない。
- ・店の後継者がいない。

- ・地域観光ルート開発による地域活性化・隣接地域への波及効果
- ・空き店舗活用ならびに、活用課題の克服
- ・都市や他地域との交流を通して広く意見を聞く
- ・様々なプランをビジネスに結び付けられる人材の発掘・育成を進める
- ・生活弱者への買い物支援

③ 雇用

- ・地域に仕事がないので若者が出て行ってしま

- ・ILC 関連の職場を誘致し、若者の定住を図る
- ・地域資源を活用したグラウンドゴルフ場を整備し、新たな雇用と高齢者社会参加等を促進する

※ 6次産業化とは⇒



(6) 産業・しごと

「豊かな自然を活かした 新たな事業で潤うまちづくり」

「若者が留まり 元気でイキイキと働き生活できるまちづくり」

現状と課題

課題解決の取り組み・アイデア

② 農業

- ・後継者が不足している。
- ・耕作放棄地が増加している。

- ・法人化で新たな雇用を創出する。
- ・6次産業化で雇用と所得の向上を目指す。

「田圃用水の占有」は意味が不明なので、削除します。

⑤ まちば・商店街（振興会）

- ・シャッターの閉まった店が増えた。
- ・自治会行事と振興会行事が重なると自治会に参加できない。
- ・店の後継者がいない。

- ・地域観光ルート開発による地域活性化・隣接地域への波及効果を図る。
- ・空き店舗活用ならびに 活用課題の克服に努める。
- ・都市や他地域との交流を通して広く意見を聞く。
- ・様々なプランをビジネスに結び付けられる人材の発掘・育成を進める。
- ・生活弱者への買い物支援に努める。

⑥ 雇用

- ・地域に仕事がないので若者が出て行ってしま

- ・ILC 関連の職場を誘致し、若者の定住を図る。
- ・地域資源を活用したグラウンドゴルフ場を整備し、新たな雇用と高齢者社会参加等を促進する。

※ 6次産業化とは⇒



(7) 生活環境・安心安全
「人と自然にやさしい循環型のまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|---|--|
| <p>①生活環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 千厩川の清流化が必要_____。 歩道の整備が必要な場所がある。 犬や猫の糞で道路が汚れている。 舘山公園の遊具撤去やトイレの落書き等があり、整備が必要。 水道の整備が必要な場所がある。 生活雑排水が流入している場所がある。 野山の手入れが行き届かず、鳥獣被害が増えている。 生ゴミの回収堆肥化や資源回収の継続が単独自治会では難しくなっている。 幹線市道（小梨との境界付近）へのゴミの不法投棄がある。 原発による放射能汚染の除染が進まず、側溝清掃の停滞及び地区側側溝に生活廃水が垂れ流しになっている場所がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 西小田配水池への桜植栽による地域住民の癒しの場創出 サケが遡上できるように魚道を整備する__ 千厩川沿いの歩道を花壇にする__（区間を分けて個人に貸す等） 歩道をウォーキングコースやランニングコースにする__ 舘山公園を整備（街路灯、草刈、遊び場等）して、定期的な手入れをする__ 生ごみの堆肥化を地区全体の事業として取り組み、利益を地域へ還元する__ 処分が難しいごみや不用品等の回収事業（リサイクルセンター等）を行う__ |

(7) 生活環境・安心安全
「人と自然にやさしい循環型のまちづくり」

| 現状と課題 | 課題解決の取り組み・アイデア |
|--|--|
| <p>①生活環境</p> <ul style="list-style-type: none"> 千厩川の清流化が必要である。 歩道の整備が必要な場所がある。 犬や猫の糞で道路が汚れている。 舘山公園の遊具撤去やトイレの落書き等があり、整備が必要である。 水道の整備が必要な場所がある。 生活雑排水が流入している場所がある。 野山の手入れが行き届かず、鳥獣被害が増えている。 生ゴミの回収堆肥化や資源回収の継続が単独自治会では難しくなっている。 幹線市道（小梨との境界付近）へのゴミの不法投棄がある。 原発による放射能汚染の除染が進まず、側溝清掃の停滞及び地区側側溝に生活廃水が垂れ流しになっている場所がある。 | <ul style="list-style-type: none"> 西小田配水池に植栽した桜を活用し地域住民の癒しの場を創出する。 西小田配水池への桜の植樹は終わっています。 サケが遡上できるように魚道を整備する。 千厩川沿いの歩道を花壇にする。(区間を分けて個人に貸す等) 歩道をウォーキングコースやランニングコースにする。 舘山公園を整備（街路灯、草刈、遊び場等）して、定期的な手入れをする。 生ごみの堆肥化を地区全体の事業として取り組み、利益を地域へ還元する。 処分が難しいごみや不用品等の回収事業（リサイクルセンター等）を行う。 まちづくりセミナー・資源循環ミーティングを自治会単位で開催し、資源循環型社会の形成に向けた理解と取組を進める。 |